

関連項目：教育活動プラン②、③

チームの力で みんなで情報を共有して

目的

本校は、小規模校なので、かかわり方を身に付けるために、異学年活動をいろいろな形で取り入れ、仲間づくりをするとともに、伝え合う力を身に付けるようにした。

内容

● 異学年集団のふれあい活動の充実

○ 「1年生歓迎ウォークラリー」

1年生歓迎ウォークラリーが色別班での活動のスタートなので、事前に「名刺交換会」を行い、1年間仲良く活動しましょうと誓い合った。そして、ウォークラリー当日には、6年生が中心になって助け合いながら、ポイントを巡り、問題を解いていった。高学年の中には1年生をおんぶする姿を見かけることができた。



○ 「道徳の日」

「道徳の日」毎月19日には、ペアー学年（1年—6年）（2年—4年）（3年—5年）で遊びを計画し、仲良く遊んでいる。1年生と6年生はペアを組んで、1年生がしたいことを尋ねながら遊んでいる。この日は昼休みを延長して、ゆっくりと交流ができるようにしている。そのために、6年生が修学旅行に行く時には、1年生から「てるてる坊主」の贈り物をもらった。「おかげさまで天候に恵まれて修学旅行ができました。ありがとうございます。」という気持ちをこめて、6年生からは、「絵はがきのプレゼント」があった。

○ 「応援合戦」

体育祭には、色別対抗の種目があるので、色ごとに絆を深めようと「応援合戦」を行った。6年生のリーダーを中心として、応援の言葉を考えたり、練習を行ったりして当日「応援合戦」を行った。リーダーがしっかりと声を出し、それぞれの色のアピールができ、色ごとの団結が一段と深まった。



保護者からも大変良かったと、大好評だった。

○ 「親子・地域ふれあい広場」

地域の方を講師として招き、9講座（おやつ・たこづくり・木工・紙飛行機・小物・わら草履・茶道・紙玉でっぼう・お手玉づくり）に全校生と親子が分かれて受講する。育成会と学校の共催で行われている。親子でのふれあいにプラスして、地域の方とのふれあいもできている。



○ なかよし広場（ジャンボシャボン玉大会）

色別班でジャンボシャボン玉大会を行った。ハンガーを丸くして、毛糸を巻き、シャボン液をつけてシャボン玉を作る。色別班なので、上級生は、下級生の世話をしながら、自分たちも大きなシャボン玉を作って楽しんでいた。



成果

小規模校の特色を生かし、異学年の交流を組むことで、上級生がリーダーとしての自覚を持って、下級生に優しく接することができるようになってきている。特に、6年生は、活動の中心となって活躍ができるようになってきた。また、できるだけふれあいが深まるように、活動も考慮している。